

2026 年 8 月 26 日

日立グローバルライフソリューションズ株式会社

エクシーダ フィット

中小規模施設の空調・冷熱設備管理を省力化するソリューション「exiida Fit」を提供開始

HMAX for Buildingsのラインアップに「exiida Fit」を加え、設備管理の省力化と安定稼働を支援。お客さまが保有・運用する設備やファシリティの価値向上に貢献



日立グローバルライフソリューションズ株式会社(以下、日立 GLS)は、このたび中小規模施設向けの空調・冷熱設備管理ソリューション「exiida Fit」を、2027 年 1 月より提供を開始する予定です。「exiida Fit」は、空調・冷熱設備の遠隔監視、AI を活用した簡易点検^(※1)・予兆診断^(※2)の機能を集約したソリューションであり、リーズナブル^(※3)な価格で設備管理業務の効率化を支援します。設備データを活用して設備の状態を可視化するとともに、設備管理の省力化や設備の安定稼働を実現し、施設運営の効率向上に貢献します。さらに、本ソリューションは日立 GLS が推進する空調 IoT ソリューション「exiida」で培った設備運用・保守のノウハウを活用するとともに、「HMAX for Buildings」のラインアップの一つとして、中小規模施設向けに設備データ活用の価値を提供します。飲食店、スーパーマーケット、物販店舗、小規模オフィス、クリニックなどのお客さまが保有・運用する設備やファシリティの価値向上に貢献します。

近年、店舗・小規模施設を中心に、労働力不足の深刻化やエネルギーコスト上昇への対応が経営課題となっています。また、冷凍・冷蔵設備や空調設備は、事業継続に直結する重要インフラであり、故障の未然防止や保守業務効率化へのニーズが高まっています。加えて、フロン排出抑制法や改定^(※4)されたグリーン購入法への対応など、施設管理者に求められる業務は年々高度化しています。こうした課題に対応するため、遠隔から設備状態を把握し、故障予兆による事業継続性の向上や点検業務を効率化できるデジタルソリューションへの期待が高まっています。

(※1) フロン排出抑制法に関わる簡易点検です。JRA GL-17 に準拠した常時監視システムとして冷媒漏えいを判定します。

(※2) 予兆診断はオプションです。冷凍サイクルに起因するものに限りです。

(※3) 従来から提供している多拠点・大規模施設向けの「exiida」と比較して、導入しやすい価格帯を設定しています。

(※4) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(グリーン購入法)に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」の変更に
ついて、2026 年 2 月 3 日に閣議決定されました。

日立 GLS は、空調・冷熱設備の製品開発・保守サービスに加え、日立のビルマネジメント分野における次世代ソリューション群「HMAX for Buildings」の空調ソリューションの一つである「exiida」を通じて、多拠点・大規模施設向けに設備運用の高度化を支援してきました。今回新たに提供を開始する「exiida Fit」は、これまで培ってきた設備監視・保守ノウハウを活用し、中小規模施設における設備管理業務の効率化を支援するソリューションです。労働力不足や設備管理業務の負担増加といった課題に対応するため、遠隔監視や簡易点検、予兆診断などの機能を備え、導入しやすい価格帯と運用性を両立しました。

■「exiida Fit」の主な特長

1. 中小規模施設における設備管理業務の省力化をリーズナブルな価格で実現【New】

「exiida Fit」はパッケージエアコンにおいて最大 10 系統までの監視に対応し、中小規模施設における労働力不足や設備管理業務の負担軽減に貢献するソリューションです。設備の安定稼働と管理業務の効率化に必要な遠隔監視や簡易点検、予兆診断などの機能を集約し、導入しやすいリーズナブルな価格帯と運用性を実現しました。一方、多拠点・大規模施設向けには最大 64 系統までの監視に対応した「exiida」を提供しており、お客さまの設備規模や運用ニーズに応じて選択いただけます。

2. 遠隔監視による設備運用の効率化

設備の運転データやアラーム履歴をクラウド上で一元管理し、空調・冷熱設備の稼働状況を遠隔から確認できます。異常発生時には E-mail や SMS で通知を行い、迅速な対応を支援します。

3. 簡易点検の自動化による保守業務の省力化

対象設備では従来 3 か月に 1 回以上必要だった、フロン排出抑制法に基づく目視点検業務(簡易点検)の代替が可能となり、保守管理業務の負担軽減に貢献します。常時監視システムで取得したデータに対して AI を活用した冷媒漏えい判定をすることで、簡易点検の効率化を支援します。

4. 予兆診断による設備停止リスクの低減

AI を活用した設備データの分析により、異常の兆候を早期に検知し、故障発生前の計画的な保守を支援します。空調・冷熱設備の突発停止リスク低減に寄与し、事業継続性の向上を支援します。

日立 GLS は、「exiida Fit」を通じて、中小規模施設における設備管理業務のデジタル化と省力化を推進します。今後は空調・冷熱設備のライフサイクル全体を支援するソリューションメニューの拡充に加え、設備データに日立が培ってきた設備運用・保守のドメインナレッジと先進 AI を組み合わせることで、予兆診断や運用効率化、設備状態の高度な把握・診断などの機能強化を進めていきます。また、「HMAX for Buildings」のラインアップの一つとして、多様な施設における設備データ活用を推進し、お客さまが保有・運用する設備やファシリティの価値最大化と持続可能な施設運営の実現に貢献していきます。

日立のコネクティブインダストリーズ(CI)セクターのアーバンソリューション&サービスビジネスユニットに所属する日立 GLS では、プロダクトの豊富なインストールベース(デジタルライズドアセット)のデータにドメインナレッジと先進 AI を組み合わせた次世代ソリューション群「HMAX for Buildings」に注力しています。これらをコアとする「ファシリティサービス」の提供を通じて、お客さまのライフタイムバリューを最大化し、グローバルに産業を変革することで、豊かな社会の実現をめざします。

中小規模施設向け空調・冷熱設備管理ソリューション「exiida Fit」について

<https://www.hitachi-gls.co.jp/products/exiida/LP4/>

Hitachi Social Innovation Forum 2026 JAPAN での紹介について

本ソリューションは、日立が 2026 年 9 月 3 日(木)～4 日(金)に開催する「Hitachi Social Innovation Forum 2026 JAPAN」において、展示会場「EX40：データ×AI で実現するビルの価値と人々のウェルビーイング向上」でご覧いただけます。また、9 月 4 日(金)14:00 から行われるビジネスセッション「BS02-05：ライフタイムバリューを最大化する HMAX for Buildings によるファシリティマネジメント」でも紹介する予定です。

詳しくは、公式サイト(<https://www.service.event.hitachi/regist/>)をご覧ください。

日立グローバルライフソリューションズについて

日立グループは、IT、OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用した社会イノベーション事業を通じて、環境・幸福・経済成長が調和するハーモナイズドソサエティの実現に貢献します。その中で、日立グローバルライフソリューションズは、パーパスとして「ひとりひとりに、笑顔のある暮らしを。人と社会にやさしい明日を。私たちは、未来をひらくイノベーションで世界中にハピネスをお届けします。」を掲げています。家電品、空調機器、設備機器や、エンジニアリング・保守サービスを提供するとともに、フットプリントとプロダクトのデータから価値を創出する Lumada 事業に注力し、ワークトランスフォーメーションおよびグリーントランスフォーメーションの実現に One Hitachi で貢献していきます。

詳しくは、日立 GLS のウェブサイト(<https://corp.hitachi-gls.co.jp/>)をご覧ください。

お客様お問い合わせ先

日立グローバルライフソリューションズ株式会社

空調ソリューション事業部 空調事業戦略本部 システムソリューション企画部 [担当：永井]

〒105-8410 東京都港区西新橋二丁目 15 番 12 号

日立愛宕別館

お問い合わせフォーム：

<https://www.hitachi-gls.co.jp/prog/form/contacta/6>